



第55号
2019年3月発行

わかば



はじめてみよう！ボランティア活動

CONTENTS

- ボランティアセンターのしくみ …… 2・3
- お知らせコーナー …… 4・5
- 地域の活動ええ和・話・輪 …… 6
- 社協活動紹介 …… 7
- 善意銀行だより …… 8

「慶野松原根上り隊」は、慶野松原の保存や魅力を発信する活動をされています。その活動のひとつとして毎月第3日曜日に慶野松原の海岸清掃を行っています。きれいな海岸が保たれているのは陰ながらたくさんの方が活動されているからです。掃除への参加は自由！興味のある方はこの機会に、気軽にできるボランティアをはじめてみてはいかがでしょうか？（詳しくはP3）

社会福祉法人 南あわじ市社会福祉協議会

〒656-0122 兵庫県南あわじ市広田広田1064番地 南あわじ市旧緑庁舎内
TEL(0799)44-3007(代) FAX (0799)44-3037(代)

URL <http://www.minamiawaji-shakyo.or.jp/>

- 本部・総務係 ☎0799-44-3007
- 地域福祉係 ☎0799-44-3007
- ボランティアセンター ☎0799-44-3007
- 権利擁護センター ☎0799-44-3310

E-mail info@minamiawaji-shakyo.or.jp

- 訪問介護事業所 ☎0799-44-3133
- 居宅介護支援事業所 ☎0799-44-2727
- 相談支援事業所 ☎0799-44-3711
- なでしこデイサービスセンター ☎0799-45-1806

この広報紙は一部共同募金の財源を活用しています。

善意銀行
だより

平成31年1月1日〜平成31年2月28日まで
(敬称略)

金銭預託

○亡母の供養として

市 土居 敬治

○亡祖母の供養として

倭文 武田 真英

○地域福祉のため

賀集 藤江 隆人

金剛講阿万支部

昭利34年卒市中学校同窓会

物品の寄付

○食材

広田 岡田 芙美子
おてらおやつクラブ

○紙おむつ

(一社)スマイリングサポート

○ふとん等

福良 森崎 美江子

○電動車いす

榎列 久倉 良和

○ペットボトルのふた・プルタブ・古切手・書き損じハガキ・テレホンカード・ベルマーク

金山 悦子 坂本 勢吉
安部 幸代 安部 則行
藤村 正人 在田 千恵
松坂 壽仁 北山 久代
太田 幸子 浜浦 晃市

上田 幸代 藤本 妙子
山形 京子 小林 佳奈
桜木 進 喜田 進彦
奥畑 広二 平田 幸彦
記虎 一美 安田みえ子
藤江キヨエ 谷間りえこ
辻川美恵子
波戸崎のぶ子
鍛冶山るり子
看護師処 花もり
神代地区公民館
なでしこデイサービスセンター
潮美台二丁目自治会
みなとふれあいサロン
みなといきいき百歳体操愛好会
津井地域づくり協議会
灘地区公民館
潮美台地区公民館
有船本鉄工所
ウインズ
手をつなぐ育成会
明治安田生命健康相互会社淡路営業所
ふれあいながた
高秋自治会
榎大幸
太陽の家
元気の森ホール
有石田商店
榎あべいす
ふじひろかイロプラクティック
広田薬局
千種いきいきサロン
南あわじ市消費者協会
福良こども園
サロンえじり
㈱エシエルケア
フードショップわたなべ
朝日産業
あずまサロン

淡路島牧場
潮美台一丁目自治会
海釣り公園メガフロート
湯の川荘
JAMエスリードマシナリ労働組合
ホテル&リゾートツ南あわじ
榎列郵便局
北阿万郵便局
八木病院
サロンのいがの
兵庫県立あわじ特別支援学校
楽園すもと
㈱岡本商店
サロンつぐいす
南あわじ市市生保護女性会

お詫び

2月2日発行の第54号共募特集号4ページに掲載した事業所、協力者のご芳名一覧から「大日様」の掲載が漏れておりました。深くお詫び申し上げます。ことのないよう再発防止に努めてまいります。

総合相談のご案内

生活上の困りごとや心配ごと、福祉に関する相談、消費者トラブル、子育てに関する事など、どなたでもお気軽にご相談ください。
○相談日 月曜日・金曜日
8時30分〜17時15分

イベントなどで「ぜひご利用ください！」

地域や学校などで行われている「交流事業」などの取り組みの支援として、資材の貸出しを行っています。

対象地域活動、ボランティア活動など

費用 無料

期間 一週間まで

申請 3ヶ月前から可能

物品 申請書の提出必要

ポップコーン機、綿菓子機
かき氷機、的あてゲーム
室内グラウンドゴルフ
コミュニケーション麻雀
ビンゴゲーム機 など

この度、みなさまにご協力いただいた「赤い羽根共同募金」を活用して、かき氷機を新調しました！ぜひご利用ください。

ふくし クイズ

ボランティア入門
講座の開催日は
何月何日
でしょう？

◆応募方法 はがきに①クイズの答え②ボランティアセンターへのご意見、やってほしい講座など③郵便番号④ご住所⑤お名前⑥お電話番号⑦年齢をご記入の上ご応募ください。

◆締め切り 4月26日(金)必着

◆応募先 〒656-0122 南あわじ市広田広田1064 南あわじ市社会福祉協議会

◆応募者の中から10名の方に図書カードをプレゼント！
◆当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

「安全」でした。第54号のふくしクイズの答えは

南あわじ市ボランティア

慶野松原根上り隊 ～慶野松原の海岸清掃～

根上り隊のみなさんは、毎月第3日曜日の朝9時から1時間程度、海岸の清掃活動を行っています。この活動は今年7月で6年になり、メンバーも徐々に増えているそうです。海岸には、ペットボトルやビン、缶などのゴミが流れてきており、毎回たくさんのゴミを回収してくれています。

他にも松の植樹や、フィールドワークなどさまざまな活動をされています。詳しい活動内容はfacebook「慶野松原根上り隊」で検索してみてくださいね！



淡路三原高等学校ボランティア同好会 ～買い物支援～

ボランティア同好会では、施設を利用されている高齢者の方の買い物のお手伝いを定期的に行っています。「ありがとう」「話ができて楽しかった」などあたたかい言葉をかけてくれます。その言葉に私たちの方が心癒され、いつもお別れするのが名残惜しいです。また、イベントなどのお手伝いもしています。誰かの役に立つことができる機会に感謝し、様々な世代の方々と出会い、心温まる時間を共有することから、多くのことを学んでいます。

淡路三原高等学校 越智 穂



ボランティアがつなく当事者の絆

社協では障がいのある方がスポーツを通して様々な方と交流することを目的にスポーツ交流教室を開催しています。参加されているボランティアのAさんはこれまでの経験を基に、参加者とともにフットサルを楽しんでいます。参加者はこれまで経験がないばかり。しかし、Aさんのアドバイスもあり、参加者は他団体と交流試合をするなどフットサルへの熱意が高まっています。Aさんは「最初はどんなボランティアがあるかわからなかった。自分の好きなことや特技を活かして何か貢献できればと思ってやっています」と話されます。



ボランティアを
始めたい方必見！

ボランティア入門講座 「ボランティアデビューしてみませんか？」

これまでボランティア活動に興味はあるけど、なかなか踏み出すことができなかつた方も多いかと思ひます。ボランティア活動は気軽に始められる身近な活動です。春は新しいことに挑戦してみたい時期！ぜひこの機会に新たな一歩を踏み出してみませんか？

日時：4月20日(土)14:30～16:00

場所：コパンえんぎょうじ(市円行寺135-1)

内容：市内のボランティア活動紹介、交流会(ケーキセット付)

参加費：300円

申込み：4月17日(水)までにボランティアセンターまで



センターってこんなところ！

ボランティアセンターは、ボランティア活動をしたい方と、ボランティアに来てほしい方をつなげるお手伝いをしています。また、ボランティア活動に関する情報提供や、講座の開催なども行っていますので、お気軽にご相談ください。

ボランティア活動をしたい！

まずは、センターに登録をお願いします。登録は個人でも団体でも構いません。活動があれば、ボランティアセンターからご連絡をさせていただきます。

ボランティアセンター

ボランティアを頼みたい！

「地域のイベントのお手伝いに来てほしい」「こんなことボランティアお願いできるかな？」など、いつでもお気軽にお問合せください。

各種講座

ボランティア入門からスキルアップまで、さまざまな講座を開催しています。



ボランティア保険

ボランティア・市民活動災害共済、行事用保険などの加入・受付を行っています。(詳しくはP4)



補助金

ボランティア活動に関する補助金情報などを随時発信していきます。



情報発信

毎月のボランティアセンターだよりや、ホームページ、facebookなどで情報発信しています。



相談

ボランティアや市民活動に関するご相談や、活動中の困りごとなどお気軽にご相談ください。



まずはお気軽に
お問合せください！

南あわじ市ボランティアセンター

(社会福祉法人南あわじ市社会福祉協議会内)

TEL:0799-44-3007 FAX:0799-44-3037

開館時間:8:30～17:15(月～金)



お知らせ

コナ

お問合せ・申込み: ☎0799-44-3007

2019年度弁護士による「無料法律相談」のご案内

昨年度に引き続き、菜の花法律事務所寺岡良祐弁護士との協働事業として「無料相談事業」を実施します。日常生活上での法律に関わる全ての問題について、相談を受け付けます。

お困り事がある方は、ひとりで悩まず、ぜひこの機会をご利用ください。

ご本人やご家族をはじめ、民生委員やボランティア、福祉専門職の方なども遠慮なくご相談ください。

場所: 旧緑庁舎 202会議室

日時: 奇数月第3水曜日(予約制)

2019年 5/15、7/17、9/18、11/20、
2020年 1/15、3/18 いずれも13:00~16:00(相談は一人30分)
相談は無料。秘密は厳守します。

弁護士: 菜の花法律事務所 寺岡良祐氏

申込み: 実施日の前の週の金曜日までにご予約ください。
予約は1回の開設につき先着順で6名までとなります。

対象: 南あわじ市内在住、在勤の方



あなたの「したい」を誰かのために… ボランティア募集

これまでの経験や知識などを生かして、地域のボランティア活動をしてみませんか?

車いす整備ボランティア

福祉学習などで使用する車いすのタイヤの点検など



レクリエーションボランティア

特技(手芸、書道、歌、踊りなど)を生かして、サロンや施設で活動

着ぐるみボランティア

地域のイベントなどで会場を盛り上げてくれる方

傾聴ボランティア

高齢者施設などで、利用者の話し相手

電動車いすをお譲りします

この度、地域の方から電動車いすを寄附していただきました。そこで、利用を希望される方を探しています。

希望される方は、①氏名②住所③電話番号を4月末日までに社協までご連絡ください。なお、希望者多数の場合は抽選により、決定させていただきます。

譲渡後の修繕・消耗品の交換などについては利用者負担となりますので、ご了承ください。



【型式】
YAMAHA JWC-2

社協職員募集 ~私たちと一緒に楽しく働きませんか?~

①生活支援員(なでしこデイサービスセンター)

職務内容: 障がい者の方の入浴、排せつ、食事等の介護や日常生活上の支援

必要資格: 普通自動車免許(AT限定可)

雇用形態: パート 勤務時間: 8:30~17:15の間

休日: 土曜日、日曜日

時給: 880円~930円(介護福祉士は150円プラス)

※勤務時間・勤務日数は相談に応じます。

※入浴介助担当の職員も募集しています。(9:15~13:00頃)

※事業所の見学や仕事内容について等、お気軽にお問合せください。

②登録ヘルパー

内容: 利用者のお宅で日常的な家事や食事の手助け、入浴の介助など

資格: 介護職員初任者研修(ヘルパー2級)修了者

時給: 生活援助 1,200円、身体介護 1,400円
※土・日・祝は300円UP ※交通費100円/1件

時間: 8:00~18:00のうち数時間

※担い手養成研修修了者の方も同時に募集しています。

まずは、お気軽にお問い合わせください!



★短時間でもOK
★フランクのある方も大歓迎!

生活福祉資金のご案内

生活福祉資金とは、相談支援を行い、必要な資金を貸し付けることによって、経済的な自立と生活の安定、社会参加を目指した貸付制度です。

①総合支援資金/臨時特例つなぎ資金

生計中心者の失業などによって生計維持が困難となった世帯に対して、生活再建までの生活費や住宅費など

②福祉資金

経済的理由や障がいなどにより生活課題を抱えている世帯に対し、一時的な費用

③教育支援資金

学費の捻出が困難な低所得世帯の生徒・学生に対し、高等学校や大学などへの入学・在学中に必要な費用

ボランティア保険加入のご案内

ボランティア活動中のもしもの事故やケガに備えて、ボランティア保険への加入をお勧めします。

①兵庫県ボランティア・市民活動災害共済

内容: ボランティア活動中の万が一の事故に備える保険

①傷害保険金②損害賠償責任保険金
③死亡見舞金

手続: 社協窓口にてご加入ください
(氏名・住所・電話番号が必要)

掛金: 年間500円/1人
(2019年4月1日~2020年3月31日まで)

②兵庫県ボランティア活動等行事用保険

内容: 事業活動中のボランティアや参加者のケガおよび、主催者が損害賠償を負った場合に備える保険

①傷害保険金②賠償責任保険金

手続: 社協窓口にてご加入ください
掛金: 1人50円(1日20人以上必要)

みはら福祉のつどい

2月17日(日)、榎列公民館において「みはら福祉の集い」が開催されました。120名もの方に参加いただき、熱気あふれる会場となりました。榎列地区から「小榎列サロン」と「掃守ふれあいショップ」の2つの集いの場の実践報告がありました。コーディネーターに「Mottoひょうご」事務局長栗木剛氏を迎え、会場の皆さんをぐっと引き込む栗木先生の楽しく軽快な口調で、集いが地域に関わっている大切さ、地域に育まれている集いの温かさを伺うことができました。

「住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい」という思いを実現するためには、住民同士の協力と日常的な何気ない活動が大切だということをお勉強になりました。



社会福祉士実習生を受け入れました

★実習生のコメント★

社会福祉協議会は全ての地域住民が安心して、自分らしく暮らすことのできる地域福祉を推進していくという使命のもと活動している団体であると感じました。また、地域住民が社協の事業を通じて住民主体による住民相互の助け合いをいかにして進めていくかが、社協には求められていると感じました。この実習を通じて地域の現状や地域福祉実践、福祉専門職として必要な知識や技術など本当にたくさんのことを学ぶことができました。一番印象に残っているのはたくさんの「人」を知ることができたことです。社会福祉を実践していく上で、「人」との出会いは欠かせないことであり、その出会いを大切にできる社会福祉士になりたいと強く思っていました。



「ボランティアのつどい」を開催しました

2月28日(木)に市内のボランティアグループやボランティアに興味のある方を対象に、「ボランティアのつどい」を開催し、●●名の方に参加していただきました。

知的障がい疑似体験では、あいまいな言葉の伝わりにくさや、声かけの仕方など、実体験を交えながら分かりやすく話していただきました。また、南あわじ市が実施している「思いやりポイント制度」についての説明もあり、ボランティアのみなさんは熱心に話を聞かれていました。

最後に、ケーキとお茶を飲みながら日頃の活動や、ボランティアに対する思いなどを話し合い、ボランティア同士のつながり深める良い機会となりました。



より良い社協づくりを目指して

南あわじ市社協では自治会や民生委員児童委員、ボランティア、行政などさまざまな分野の方で構成された理事監事会を定期的で開催し、社協の活動や運営について協議しています。

1月の理事監事会では、職員を交えて「地域のネットワークづくり」についてグループワークをおこないました。地域をよく知る役員のみなさんからのご意見は、職員にとって新たな気づきにつながることも多く、いつも良い刺激になっています。

毎回活発な意見交換が繰り広げられる理事監事会。これからも役職員一丸となって「みんなで考える笑顔のまち」の実現に向けて取り組んでいきます。



若者が灘を盛り上げる原動力に！「昇り坂」がアンテナショップを開設

冬の観光名所として水仙郷が有名な灘地区。毎年多くの観光客が訪れますが、人口減少や少子高齢化が進み、灘小学校が廃校するなど地域住民の活気にも影響を及ぼしていました。寂れゆく地区に危機感を覚えた灘地区在住・出身の若者が地域を盛り上げようと灘活性化委員会「昇り坂」を設立しました。

「昇り坂」は、地域をどのように盛り上げていくのか協議を重ね、灘の食や景色などの魅力を多くの人に知ってもらうこと、そして観光客と住民、地元商店などをつなぎ、地域を元気付けることを目的に、昨年アンテナショップを開設しました。昨年は非常に好評で、今年も引き続いて開催にいたりしました。

1月20日(日)天気はあいにくの曇り空でしたが、アンテナショップは大勢の方でにぎわいました。美しい水仙郷をバックに、訪れた観光客は灘地区特産のみかんジュースやアジフライなどの海産物に舌鼓。水仙郷や地元特産物などの紹介を交えながら、地域住民と観光客の交流がみられました。代表者の西山さんは「灘の魅力は海産物だけではない。他にも農産物などたくさんの魅力を感じてほしい。観光客が増えれば、地域もその分元気づく。」と熱い思いを語られました。今後も「昇り坂」が灘の未来を切り拓いていく原動力として、地域を盛り上げていきます。



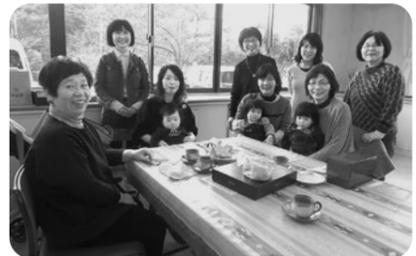
おいしいパンとコーヒーで「おしゃべりカフェ」

丸山地区公民館の一室で「おしゃべりカフェ」というかわいい名前のサロンが毎週水曜日に開催されています。「どなたが来られてもいいですよ！」というコミュニティカフェの要素を持ったサロンです。

濱田さんと荒井さんという学校の先生を退職されたお二人の女性を中心にサロンを運営されています。この「おしゃべりカフェ」では手作りパン・ケーキ、コーヒーをいただくことができます。コーヒーを飲みに来られる方、パンを求めて来られる方、それぞれです。パン作りは現役の頃に、教室に通って習われたそうで、パンを焼いて皆に食べてもらいたいという思いが、退職後「なにかをしたい」というきっかけのひとつだそうです。ままごと感覚で何かできればという思いからの出発でしたが、公民館長が場所の提供をしてくださり、丸山地区の地域づくり協議会での紹介という流れで、思いがサロンとして立ち上がったという経緯です。

丸山地区公民館は少し高台にあり、坂道を登って来なければならないということで、高齢者の方が集にくい場所であったかもしれません。その為、当初は地元の方が少なかったのですが、口コミで徐々に数も増えて地元の高齢者や常連さん、子ども連れの若いママたちなども来られるようになりました。

今ではパンの種類は10種類を超え、数は150個以上にもなるそうです。このパンを通じての「おしゃべりカフェ」が、地域の集いの場はもちろんのこと、閉じこもりがちの高齢者や引きこもりになっている若者の集える場になってほしいという強い思いをお聞かせくださいました。語られる表情は本当に楽しんで、地域を明るくする大きな資源を頂いたようでした。



「ええ和・話・輪」で紹介してほしい活動があれば、ぜひ社協までご連絡ください！